

WebEx タイプ II を使用した Unified MeetingPlace 7.0 シングル サインオン

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[アーキテクチャ](#)

[LDAP プロファイル 同期](#)

[統合された通信マネージャ ユーザ PIN 推奨事項](#)

[MeetingPlace 7 つのディレクトリ サービス フィルタ](#)

[時間帯のためのディレクトリ サービス フィルタ](#)

[グループのためのディレクトリ サービス フィルタ](#)

[プロファイル番号](#)

[エンドユーザ 認証プロセス](#)

[ユーザ ID およびパスワードは設定を保存しました](#)

[Outlook および Lotus Notes SSO](#)

[手順](#)

[API およびプラグイン](#)

[WebEx 生産性 ツール セットアップ](#)

[記録物](#)

[型 II スケジューリングを用いるセンター WebEx サイトに会う指定 ホストのオーディオ専用 ユーザ](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco WebEx Type II で使用する Cisco Unified MeetingPlace 7.0 Single Sign-On (SSO) について説明します。

機能

- Cisco Unified MeetingPlace アプリケーションサーバは Cisco 社内 ディレクトリおよび Cisco WebEx Meeting Center を繋ぎます。
- 別々の Unified MeetingPlace および WebEx ユーザアカウントを管理する必要を省きます (、変更、非アクティブ化追加します) 。
- エンドユーザは Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ユーザー ID およびパスワードを利用し、WebEx 生産性ツールおよび WebEx Web のための前提でスケジューリング インターフェイス認証されます。

- WebEx 生産性ツールの配備を簡素化します。
- 動的に作成される WebEx ホスト アカウントを時ユーザ ログイン作成します。
- 3 つの (3) WebEx コントラクト型をすべてサポートします: 1 分あたりネームド ホスト、同時ポート、および。
- スケジュールする WebEx 型 II に関しては Unified MeetingPlace は *reservationless* 会議を使用します: プロファイル数はすべての会議のために *reservationless ID* として使用されます。会議のザ・ホストは Unified MeetingPlace プロファイル数およびプロファイル パスワードを使用してログイン可聴周波会議を開始するためになります。または Unified MeetingPlace は発信者 ID を会議にユーザを自動的に記録するのに使用する自動出席機能を使用するために設定することができます。すべてのゲストユーザは控室でホストがログオンするか、または (オプションで) 他のプロファイル ユーザまでその可聴周波会議にログオンするまで保持されます。

単一 サインオン (SSO)

MeetingPlace SSO はセキュリティの使い易さのバランスをとります:

- Unified MeetingPlace が社内ネットワークの内に完全に常駐するので、ログインできる前に Unified MeetingPlace SSO は会議ホストが社内ネットワークに接続するように要求します。
- Unified MeetingPlace SSO は会議ホストが WebEx ページおよび生産性ツールにログインに LDAP/Microsoft Active Directory (AD) ユーザ ID およびパスワードを入力するように要求します。利便性として、ログオン情報は 90 分までの間保存されます。
- 彼らがログイン、会議ホスト会議をスケジュールするか、または起動できれば。
- 会ってゲストは Unified MeetingPlace SSO に対して会議に加わるために認証する必要があります。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified MeetingPlace 7.0 に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

アーキテクチャ

- WebEx テレフォニー サービス プロバイダー (TSP) は Transport Layer Security (TLS) セ

セキュリティ 認証を XML API 命令 セットによってセキュアコミュニケーションに内部からの外部ファイアウォールに WebEx サイトに耐久性がある暗号化された TCP 443 ソケット接続に与えます。エンドユーザ 認証を用いる Cisco Unified Communications Manager (CUCM) LDAP 統合は団体 LDAP システムに有効になり、すべてのユーザは CUCM エンドユーザ データベースで作成されます。それから、Unified MeetingPlace ディレクトリ サービスは Unified MeetingPlace に CUCM ユーザを同期するために有効になります。SSO はプロビジョニングの間に WebEx サイトで有効にする必要があり、サイトの改造なしで後変更することができません。Unified MeetingPlace のすべてのプロファイルは WebEx にそれから自動的に伝搬し、SSO は前提で提供されます。

- LDAP パスワードは Unified MeetingPlace か WebEx で送信されませんし、保存されません；すべての認証は LDAP に前提で行われます。Unified MeetingPlace ディレクトリ サービスが CUCM 6.x またはそれ以降と有効になる場合、認証は LDAP 認証に CUCM によって提供されます。Unified MeetingPlace プロファイル パスワードはプロファイル 同期の間に CUCM *Pin Field* で作成され、デフォルト PIN はすべてのユーザに供給されます。PIN は CUCM エンドユーザ ページだけを通して GUI ([https:// <ccm url>/ccmuser](https://<ccm url>/ccmuser)) によってまたは CUCM システム アドミニストレータ PIN リセットによって変更することができます。認証はまたローカル Unified MeetingPlace ユーザー ID およびパスワード (LDAP ディレクトリ サービス 統合は CUCM か Unified MeetingPlace で有効になりません) を与えられるかもしれません。
- Unified MeetingPlace によるエンドユーザ 認証はセキュリティ アサーション マークアップ言語 (SAML) を信頼できるサイトとして WebEx に通ります。
- それらがまだあっていない場合、プロファイルはこれらの例の WebEx で作成されます: ユーザが WebEx 会議をスケジュールする時。ユーザアクセス スケジューリング ページからのアカウント時。
- WebEx サイトがこの顧客に専用され、特に使用されるのでユーザネーム競合が発生しないと WebEx TSP は仮定します。
- WebEx はサイトのすべてのユーザ向けにユニークな e メールアドレスを必要とします。
- WebEx と統合とき、Unified MeetingPlace ユーザ プロファイル数 *reservationless ID* 要件は 8 デイジットまたはより少しです。通常、*reservationless* プロファイル数はエリアコードなしに作業電話番号であるはずです。
- ユーザ プロファイルは WebEx サイト 管理 センターから手動で無効にする必要があります。また、自動的に XX 非アクティブの幾日以降にアカウントを無効にすることを WebEx サイト 設定が可能にすることができます。(この機能は SSO か非 SSO システムのための TSP によって automatically サポートされません。)

LDAP プロファイル 同期

顧客 LDAP 「MS AD 2000/3 /7"」	UC マネー ジャ ユー ザプロフ ファイル	MeetingPlace ディ レクトリ サービス	WebEx ホスト アカウント
given Name	名	名	名
sn	名字	名字	名字
sAMA ccount	ユーザ ID	ユーザ ID	ユーザ ID

Name			
Passw ord	認証が有 効になる 場合パス ワード (LDAP か ら)	パスワード (LDAP かローカル MP パ スワードから)	統合された LDAP が有効に なる場合 WebEx のパス ワード (送信さ れない) ローカ ルパスワード は統合された LDAP 使用され ません
teleph oneNu mber	電話番号	プロフィール数 (修正するこれに おける3つの異っ た方法)	プロフィール数 (制限8デイ ジット)
N/A	PIN は PIN を確認し 、	パスワードをプロ ファイルし、確認 して下さい	N/A
メール	メール ID	Eメールアドレス	Eメールアドレ ス
teleph oneNu mber	主要な電 話番号	主要な電話番号	オフィス電話
部門	部門	グループ名 (デフ ォルトはシステム はです)	
N/A	LDAP 同期 化ステー タス	ユーザステータス: ロックされるアク ティブ、ディセー ブルにされる	
N/A	N/A	請求書を送るコー ド (オプションの)	請求書を送るコー ド (オプションの)

注: 顧客 LDAP が SunOne/iPlanet である場合、フィールドは LDAP データベース名のために異な
っていますが、Microsoft AD に類似したです。

カスタマーディレクトリ	CUCM ディレクトリ サービス
Windows AD 2000	○
Windows AD 2003	○
Windows AD 2007	○
Windows AD 2008	○
Netscape 4.x	○
iPlanet 4.x	○
Sun 5.1 ディレクトリサーバ	○
Sun Java 5.2 ディレクトリサー バ	○

OpenLDAP	○
IBM Tivoli ディレクトリ サービス	道路地図
eDirectory Novell	○
SunOne	なし
Domino ディレクトリ	なし

統合された通信マネージャ ユーザ PIN 推奨事項

- すべてのユーザ向けの既定の資格情報ポリシーを設定して下さい。詳細については[資格情報ポリシー デフォルト 設定](#)を参照して下さい。
- 容易なデフォルト PIN を使用しないで下さい; たとえば、「123456」はセキュリティリスクによるデフォルト PIN として使用するべきではありません。
- クレデンシャル ポリシー デフォルト 設定 ページで、**ユーザを次の Login チェックボックスで変更しなければなりません**チェックして下さい。
- エンドユーザはセキュアであるために Unified MeetingPlace プロファイル パスワードのための PIN を変更するためにユーザー オプション *ccmuser* ページにアクセスする必要があります: [https:// <UCManager ホスト名>/ccmuser](https://<UCManager ホスト名>/ccmuser)
- 現在の PIN は上に示されているようにクレデンシャル ポリシー デフォルト 設定 ページで設定されるデフォルトです。

MeetingPlace 7 つのディレクトリ サービス フィルタ

フィルタは設定可能国別コードに基づいてプロファイルを作成するか、または電話番号に基づいて時間帯を作成するためにです。

時間帯のためのディレクトリ サービス フィルタ

Cisco Unified Communications Manager で利用可能ではないこれらのフィールドのうちのどれかが Cisco Unified MeetingPlace ユーザ プロファイルで (LDAP によって) 空のままになります:

- 名、名字、またはユーザ ID。
- 固有の番号であるプロファイル数は主要な電話番号に、基づいていました。
- ユーザ ステータス。
- Eメールアドレス。
- 主要な電話番号。

グループのためのディレクトリ サービス フィルタ

- 電話番号 プレフィクス (エリアコード、国別コード、等) によるフィルタ処理された。
- デフォルトで、アプリケーションサーバの現地時間はグループにフィルタを割り当てられません。
- グループ名は部門数フィルタリングされます。
- デフォルトで、システムユーザグループは割り当てられます。

プロファイル番号

手順

1. 時間帯のための設定フィルター。
2. グループのための設定フィルター。
3. 設定 プロファイル数フィルター。
4. CUCM とディレクトリ同期化を行って下さい。

推奨事項

- 電話番号をようにプロフィール数使用して下さい。注：CUCM ユーザ プロファイル 電話番号 フィールド エントリはプロフィール番号です。ユーザ向けの電話番号が空白でしたりまたは Unified MeetingPlace の既存のプロファイル数によって競合する場合、システムは 6 桁によって自動生成されるプロフィール数を使用します。
- 電話番号の最後の「n」(数) デジットをようにプロフィール数使用して下さい。注: ユーザ向けの電話番号が空白であるかまたはユーザ向けのこの方式を適用することが Unified MeetingPlace の既存のプロファイル数によって競合すれば、システムは 6 桁によって自動生成されるプロフィール数を代りに使用します。
- 6 つの (6) デジットによって自動生成されるプロフィール数を使用して下さい。自動生成されたプロフィール数は 100001 から常に開始し、6 デジットが含まれています。ユーザ向けの電話番号 フィールド エントリがデジットの設定された番号より短い場合、番号はあるように使用されます。
- 次にプロフィール 番号構成 方式を適用して下さい:新規 ユーザ gets がインポートした各ユーザプロフィールディレクトリ サービス ユーザプロフィールの間に更新済であるプロフィールはアップデートします完全な同期

エンドユーザ 認証プロセス

全体の WebEx ユーザ認証は Unified MeetingPlace によって前提で処理されます。ユーザが認証されれば、WebEx セッションID はユーザ向けに生成され、要求は WebEx サービスにリダイレクトされます。

SAMLv2 SSO のためのフローの外観はここにあります:

1. ユーザは WebEx サイトの保護されたリソースをクリックします。
2. WebEx はユーザがセッション情報に基づいてログオンしなかったことを認識します。
3. WebEx は識別プロバイダ (Unified MeetingPlace) にユーザをリダイレクトします。
4. Unified MeetingPlace はまたユーザがログオンされなかったに基づいた単独でセッション情報ではないことを注意します。
5. Unified MeetingPlace はユーザに自身のログイン ページを示し、それらを認証します。
6. Unified MeetingPlace は SAML アサーションを生成し、WebEx にこのアサーションを送信するためにユーザをリダイレクトします。
7. WebEx はアサーションを検証し、ユーザは認証されます。
8. ユーザは今 WebEx の保護されたリソースにアクセスできます。

SAMLv2 SSO のためのステップバイステップ フローはここにあります:

1. WebEx サイトは前提認証のための内部 Unified MeetingPlace アプリケーション サーバに自動的にユーザをリダイレクトします。
2. ユーザアクセス 共用ファイアウォールの後ろの前提の Unified MeetingPlace 認証 ページ。
3. ユーザーの資格情報に基づいて、Unified MeetingPlace サーバは自身のローカル Unified

MeetingPlace データベースが団体 LDAP ディレクトリに対してディレクトリ サービスによって有効に なられた場合) ユーザを認証します (。

4. Unified MeetingPlace サーバは WebEx にユーザ向けの *sessionGenerate* 要求を送信 します。
5. WebEx はユーザが既に認証され、MeetingPlace にユーザ向けのユニークなセッションID を送信 していることを仮定します。
6. MeetingPlace は WebEx にユーザをリダイレクトします (URL のクエリ文字列のセッションID と)。
7. Unified MeetingPlace はユーザを認証し、彼らがだれであるかであることをアサートします。
8. WebEx は提供された検証し、次になされる Unified MeetingPlace クレームを信頼します Unified MeetingPlace 認証とシグニチャをチェックすることによって検証が成功した場合アサーションを。
9. ユーザは WebEx Webインターフェイスから今会議をスケジュールするか、または出席でき ます。

ユーザ ID およびパスワードは設定を保存しました

WebEx サイト設定に認証サービスの期間を制御するオプションが追加しました/編集しますあ ります。

ユーザがログオン資格情報のために再度プロンプト表示される前にそのログオンがシステムにど の位許可されるかユーザ ログインおよび WebEx サイト パラメータは規定 します。

オプションの Webブラウザ パスワードセキュリティ設定

ブラウザ セキュリティ設定が使用するために有効に なったら私をパスワードによって保存される 設定、ユーザ再度プロンプト表示されません Unified MeetingPlace システムへのログインに覚えて 下さい。意図的に、Unified MeetingPlace はログオン資格情報のためにシステムにログインし ている ユーザのセキュリティ統合を維持するためにプロンプト表示します。(Unified MeetingPlace はパスワードを保存しません。) これは IT部門制御によって許可されるか、また は許可されない企業ユーザ権限によって完全に制御されます。

Firefox に関しては、このセキュリティ設定はセキュリティオプション ダイアログボックスにあ ります。

Internet Explorer に関しては、このセキュリティ設定は AutoComplete Settings ダイアログボッ クスにあります。

Outlook および Lotus Notes SSO

WebEx/Unified MeetingPlace 会議は Microsoft Outlook または Lotus Notes クライアントが付いて いる WebEx 生産性ツールを通してスケジュールすることができます。ユーザは顧客 LDAP シス テムで彼らがプラグインによって会議をスケジュールできる前に設定され、認証する必要があり ます。ユーザ認証のための 2 つのモデルがあります: ディレクトリ サービスとの 1 つおよびディ レクトリ サービス無しの他の 1。

手順

Microsoft Outlook の会議をスケジュールするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Microsoft Outlook カレンダーにアクセスして下さい。
2. **会議**を『Schedule』 をクリックして下さい。
3. **WebEx 会議**を『Add』 をクリックして下さい。WebEx 生産性 Tools ダイアログボックスは現われます。
4. ユーザー名およびパスワードを入力し、『Login』 をクリックして下さい。WebEx 会議はスケジュールされます。ユーザは WebEx 会議を取り消すか、または Microsoft Outlook プラグインによって設定を変更できます。

API およびプラグイン

SSO による認証に関しては、Unified MeetingPlace は WebEx プラグインが Unified MeetingPlace の SSO 統合があるかどうか識別するようにする API を提供します。API はまたユーザが認証を完了することを可能にします。ディレクトリ サービスがないケースでは、WebEx クライアント プラグインは WebEx からの認証を直接得ます。

Unified MeetingPlace が SSO と展開される場合、プラグインは Unified MeetingPlace に認証メッセージを送信 する必要があります。SSO がない場合、認証メッセージは WebEx に行きます。

WebEx プラグインは正しい認証サービス URL に認証メッセージを送信 するためにこの情報が要求します:

- Unified MeetingPlace 認証サービス URL: `https:// <meetingplace アプリケーション サーバ>/public/login/aplogin`
- WebEx サービス URL
- Unified MeetingPlace に設定されるディレクトリ サービスがあるかどうか

WebEx プラグインはクライアント マシンにインストールしている間かもしれまじたりまたはこの情報と前もって構成されないかもしれませぬ。すべての情報が前もって構成される場合、設定に基づいて Unified MeetingPlace/WebEx へ認証メッセージを送信 することによってプラグインがユーザを認証するのに使用することができます。

プラグインが情報と前もって構成されない場合、差込式は構成情報を得るために Unified MeetingPlace に一度だけメッセージを送る必要があります。ユーザは手動で Unified MeetingPlace 認証サービス URL を入力し、メッセージを入れる必要があります。(これはユーザ向けの一度だけ手動ステップです。)

それに答えて、MeetingPlace はこの情報を返します:

- Unified MeetingPlace に設定されるディレクトリ サービスがあるかどうか
- WebEx サービス URL

プラグインがこの情報を受け取れば、ユーザ認証に使用することができます。ユーザはユーザネームおよびパスワードを入力するためにプロンプト表示されます。

ディレクトリ サービスがある場合、データが入れば Unified MeetingPlace API にメッセージを送ります。Unified MeetingPlace はユーザ ID およびパスワードに基づいてユーザを認証し、WebEx API とセッションキーを生成するために通信します。それが正常である場合、セッションキーは XML 応答によって戻ります。オペレーションが失敗した場合、XML メッセージはエラーメッセージおよびエラーコードが含まれています。

WebEx 生産性 ツール セットアップ

WebEx 生産性ツールをはじめてインストールした後、Web 生産性ツール ログイン ページは提示されます。設計上 Unified MeetingPlace が認証を提供するので、ユーザネームおよび Password フィールドは無効です。

ログインはサイト URL フィールドで、ドメイン名を (たとえば、*t271mp.webex.com*) 入力し、『Login』をクリックします。

注: ユーザがログオン資格情報のために再度プロンプト表示される前に渡る時間数は WebEx サイト 認証サービス パラメータによって設定されます。既定の時刻は 90 分です。

また、Cisco WebEx ワンクリック ダイアログボックスを通してログインできます。編集 WebEx 設定リンクをクリックして下さい。

アカウント タブは開き、ユーザネームおよび Password フィールドは無効です。ドメイン名を (たとえば、*t271mp.webex.com*) 入力し、『Apply』をクリックして下さい。

WebEx 生産性ツール ログイン ページは提示され、ユーザネームおよびパスワードは 1 クリック クライアントによってローカルで保存されます。ユーザはシステムに再度ログイン するためにプロンプト表示されません。

記録物

- エンドユーザは WebEx Meeting Center インターフェイスからの記録物を常に開始する必要があります。
- Unified MeetingPlace Voice User Interface (VUI) Dual Tone Multifrequency (DTMF) リレーからの記録を開始する場合、可聴周波だけを記録し、オーディオ専用記録として再生のためにアクセスが不可能です。
- WebEx Web 会議からの記録を開始する場合、オーディオおよび Web を両方記録します。
- 会議 録音が WebEx Web 会議 インターフェイスから開始するとき、ネットワークベース記録 (NBR) サービスは送達された Unified MeetingPlace オーディオ ダイアルイン番号を使用してダイアルアウト シーケンスに従います。
- 可聴周波サーバはユーザが WebEx からの記録サーバである、接続されるべき音声 リンク割り当て認識しことを特別なシーケンスを、確認します。
- WebEx は WebEx NBR サービスで保存される同期されたオーディオおよび Web 記録物を作成できます。NBR サービス内のストレージ パラメータを設定できます。
- ユーザは自身の WebEx ポータルにログイン 記録物にアクセスするなります。
- *Record Meeting* オプションはすべての WebEx 会議のための本当に設定され、一般的なプロンプトはすべてのユーザ向けに、「この会議の部分」遊ばれず記録されるかもしれません。(このデフォルト設定は無効である場合もあります必要であれば。)
- 記録する必要があるオーディオ専用会議は WebEx でスケジュールされ、WebEx によって記録することができます。

型 II スケジューリングを用いるセンター WebEx サイトに会う指定ホストのオーディオ専用 ユーザ

顧客 システム アドミニストレータはユーザがシステムで作成されると同時に手動でこれらのステップを実行する必要があります。

1. サイト管理者は完全な WebEx 特権でホスト アカウントを作成します (次のセッションと入力します: PRO および AUO*)。注: このホスト アカウントは顧客が購入するネームド ホスト クォータに一時的に合計します。
2. サイト管理者は AUO だけイネーブルのままにするこの新しいホスト アカウントに対する PRO セッション型をディセーブルにします。
3. サイト管理者は Excel CSV ファイルに権限を、バッチ更新権限エクスポートし、次に権限をインポートします。注: これは無限数のオーディオホスト アカウントだけ WebEx 生産性 ツールでスケジュールすることができるようにネームド ホスト数を減少します。

関連情報

- [Cisco Unified MeetingPlace 7.0 製品 & サービス](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)